

2017 年 4 月 16 日(16 週目)主日メッセージ(復活主日礼拝) 「復活のキリストを味わいましょう」(使徒 1:1-5)

私たちは主が生きておられることを信じています。キリストが十字架にかけられ復活されたことを信じながら、全世界の教会で礼拝を捧げています。全世界ではキリスト教を信じてる人が一番多いですが、日本では神の子供は少なく仏教の方がはるかに多いです。なぜなら、日本のキリスト教会の人々がキリストの復活の力を体験できていないからです。神様は私たちがキリストの復活を信じ、復活のキリストを体験することを願っておられます。では、そのことを体験するためにどのようなことを味わうべきでしょうか。

1. 唯一の救い主	2. 神の国のこと	3. 聖霊の力	4 部礼拝「再創造の機会(私の現場)」(使 1:8)
▲キリストのみが唯一な救い主であることを信じるべき。キリストは創造主であるが人間の体をきてこの世にこられた。それはキリストの働きをするためである。 1)使 1:1(テオピロよ。私は前の書で、イエスが行い始め、教え始められたすべてのことについて書き) ▲キリストの働き＝真の王,真の祭司,真の預言者の働き 2)創 3:15(彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく) (1)宗教－悪魔に仕えること (2)キリストがサタンの頭を打ち砕く －悪魔から解放、運命から解放 3)ローマ 8:1-2(キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです) ▲キリストが罪と死から解放した。 4)ヨハ 14:6(わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません) ▲神と出会う道となり命を与えて下さった。 5)キリストが十字架の上で救いを完了して下さった。 (1)キリストを信じる時－呪い、災いから解放 (2)信仰の結果－問題の解決者であることを体験 (ex.悪霊が見えて苦しんでいても福音を信じた時に悪霊が見えなくなった等) 6)ヨハ 1:12(その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった) ▲神の子供となる。神の子供には聖霊が共にいる。 7)ローマ 1:16-17(義人は信仰によって生きる) ▲福音の信仰を持って生きる時に体験を出来る。 8)ガラ 2:20(私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです) (1)自分の自我は十字架につけられた。 (2)自分が無くなるとはキリストが私の主人となること。 (3)自分が無くなる時に、キリストが思う存分に働く。	▲復活のキリストを味わう－神の国を味わう。 1)使 1:3(イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された) ▲神の国のために生きる時にキリストを体験。 2)出 25:22(わたしはそこであなたと会見し、その『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の二つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをことごとくあなたに語ろう) (1)大祭司は幕屋で神様と会いメッセージを頂く (2)復活のキリストは弟子たちと会われ 40 日間共にいた－神の国(伝道と宣教)を完成するため 3)マル 16:15(全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい) (1)人間は罪、サタンの中にいるから悪の道にいつてしまう(ex.P T A 会長が小学生を殺害した事件) (2)救われ神様が共にいることで守られる。 (3)キリストが解決者であることを人々に伝える (4)あらゆる国の人を弟子としなさい(マタ 28:18-20) 4) I ペテ 2:9(あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です/すばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです) (1)万民祭司の務め(マルティン・ルターが回復)－プロテスタントの始まり (2)万民祭司に加え、万民王、万民預言者の務めを聖徒に与えられている。 (3)聖徒の人生を通して伝道をする －キリストの体験を与えて下さる (4)聖徒が神の願いを知って人生の計画を立てる －主が成就される	▲私たちが立てた計画を実行できる力をもらう。 1)使 1:4-5(ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです) (1)聖霊が私を助ける (2)祈りと礼拝によって聖霊の力を受ける－奇跡 (3)祈りの方法－すでに与えられたことに感謝(救われたこと、神の子供、天国の市民権等を感謝) (4)力を受けた結果－神の国のための献身(伝道、宣教) (5)天国の鍵を持っている (マタ 16:19)－救いの働き 2)使 1:8(しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります) ▲勉強、仕事にも力を与える 3)使 1:14(この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた) ▲祈りに専念した結果－体験・未来が開ける・計画を成就される。 結論 ①祈りの計画:1 日に少しでも祈る ②伝道の計画:福音を伝える計画 ③献身の計画:献金計画、技能・勉強を通してどう献身をするか)	序論－だまされるな問題(①家庭、②国家、③教会、④社会、⑤偶像、⑥捕虜、⑦迫害－異端の濡れ衣) 本論 1. 未来への心配 1)使 1:1、3、8 2) 21 の奥義－私は誰か 2. 辛い世の中 1)使 2:1－47、聖霊の導き 2) 9 つのポイント－私はどこにいるのか 3. 勉強、お金の心配 1)霊的なサミット 1) 7 つの教育－私は何をする 4. 危機 1)残る者、隠された者、散らされた者 2) 20 の戦略－私はどうする 5. 災いの時代 1)霊的な状態 2) 5 つの祈りの奥義－再創造 3) その日 1. 創 45:1－5 2. 出 3:1－20 (出 2:1－10) 3. I サム 7:1－15 4. I サム 17:1－47 5. II 列 6:8－24 6. イザ 6:13 7. 使 1:8 ①さみしさ－神が造った私 ②苦難の中－神が与えた物 ③危機の中－神が与えた現場 ただ－キリスト、唯一性 聖霊の働き、再創造

区域地教会(2017 年 4 月 16 日～4 月 22 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】

「復活のキリストを味わいましょう」(使徒 1:1-5)

【讚美】

151(162) よみがえりの主

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・「第二の RUTC 運動」(本部 元旦メッセージ)のメッセージの成就のために。
- ・「第二の宗教改革」(福音宣教教会 元旦メッセージ)。全聖徒が万民王、万民祭司、万民預言者の使命を成し遂げ、2017 年に 1%福音化が成されるように。
- ・3 つの運動(区域地教会、レムナント、8000 教会・286 人の宣教師)の成就のため。
- ・主任牧師に聖霊充満と 5 つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

【Memo】